



# 中間株主通信

**第70期 Interim Business Report**

2022年4月1日～2022年9月30日



## 創業の精神「米技心」を具現化

### 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期は、終わりの見えないコロナ禍のなか、国際情勢の不安定化や諸物価の高騰が顕著に見られ、経済活動に大きな影響を及ぼしました。更に米菓業界においては同業他社の火災事故による米菓供給の逼迫など正にかつてない激動期となりました。

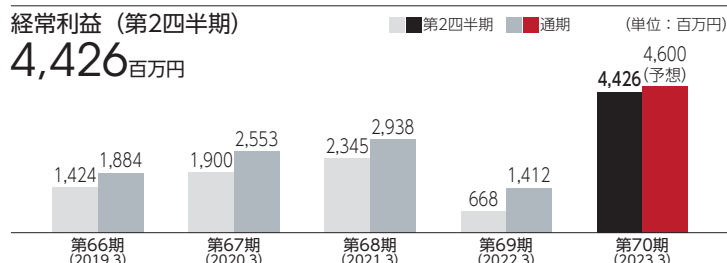
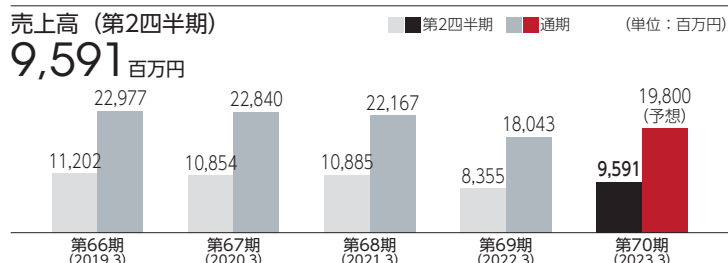
当社グループは、今期から新中期経営計画「新しい岩塚価値の創造」がスタートを切り、「もっと美味しく・もっと楽しく・もっと笑顔に！」をスローガンに掲げ、お客様に美味しく価値のある商品を手に取っていただけるよう、社員一丸となって取り組んでおります。

また、今期は節目である創業75周年を迎えることができました。これも偏にお客様のご愛顧や株主様のご指導の賜物と感謝申し上げます。これからも創業より受け継いできた米技心の精神によるものづくりにより、お客様に「おいしさの感動」をお届けできるよう精進してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2022年11月 代表取締役社長 榎 春夫

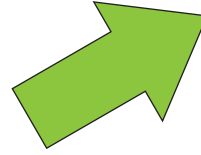


※第69期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、第69期以降に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっております。

## TOP6+2のシェアアップ

TOP6+2(主力商品6商品と戦略商品2商品)のシェアアップを図り、上半期の出荷金額ベースでは昨対比115.7%となりました。TOP6+2に集中した生産と販売を行うことで、生産性と品質の向上を図り収益強化に努めてまいります。

黒豆せんべい 130.9%  
 味しらべ 121.5%  
 大袖振豆もち 150.4% が牽引



※TOP6+2:黒豆せんべい、味しらべ、田舎のおかき、大人のおつまみ、大袖振豆もち、ふわっと、きなこ餅、バンザイ山椒

## 安全・安心・防災体制の再構築

安全安心な職場環境の整備として、管轄消防署に要請し防火対策の点検を実施しました。消防署からは、法律違反となる指摘はありませんでしたが、より良くするための指摘をいただき改善を行っております。また、避難経路の確認を目的に夜勤者を含めた避難訓練を実施しました。お客様に安全安心な商品をお届けするとともに、従業員の安全安心にも取り組んでおります。



飯塚工場で実施された消火訓練の様子

## わくわく米菓売場の展開

BEIKA Labが本格稼働し、米菓の可能性を追求した新ジャンル商品の開発および生産体制が整いました。



BEIKA Lab

### 「新機軸米菓」の発売

- 「チョコロモ」
- 「スノーカ」
- ・ぬれおかき+チョコレート
- ・お米で作ったクッキー

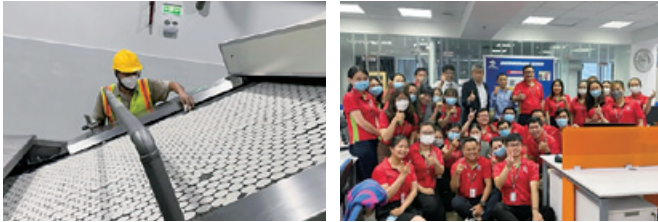


昨年、試験販売して好評いただいた「チョコロモ」と「スノーカ」を「新潟味のれん本舗」で期間限定発売します。「チョコロモ」は、新潟県内の一部土産店においても販売をいたします。



## 旺旺集団ベトナム工場との協働

旺旺集団のベトナム工場が完成し3月から稼働を開始しました。同工場には技術指導員を派遣しており、同社と協働して「米菓からBEIKAへ」の歩みに向けアジアへの販売拡大を目指します。



## 新人事制度による人財育成

コロナ禍のなか、WEBや少人数による若手キャリアアップ研修などを実施し、人財育成に努めてまいりました。経営に寄与する人事施策を進めるためにも、従業員のスキルアップを図ってまいります。



## SDGs経営のステップ・アップ

### ダンボールサイズの見直し

「田舎のおかき」のダンボールサイズの見直しを実施。これにより、物流効率が向上し、トラックのCO<sub>2</sub>排出削減が見込めるとともに、ダンボール使用重量年間約105tの削減が見込まれます。



### 沢下条工場にソーラーパネル設置

飯塚工場に続き、沢下条工場にもソーラーパネル設置による太陽光発電を進めております。本格稼働により、沢下条工場の約9%の電力供給が可能となります。



## 地域との取り組み

新潟県外唯一の生産拠点である北海道工場の強みを生かし、地域の活性化に繋がる取り組みを行っております。



東川町との三者協定を昨年より締結し、東川町・JAひがしかわと協力し、今年度も「東川産米ゆめぴりか」を使った米菓を限定発売

千歳高校BSC(ビジネス・スタディ・クラブ)とのふわっとコラボ商品「しゃけっと 石狩鍋風味」「ふわっとハスカップアロニア味」を限定発売

JA美瑛アンテナショップ「美瑛選果」とのコラボ商品「ふわっとびえいのコーン味・たまねぎ味」を限定発売

## 新潟県・JAと連携したもち米「ゆきみらい」2年目の取り組み

新品種「ゆきみらい」は新潟県が開発した育成品種のもち米で、既存品種より収穫や品質が安定しており、米菓への加工特性が高いのが特長です。2021年より地元の2農協を筆頭に契約栽培を開始し、2年目の今年は430ヘクタールの作付面積となり、「ゆきみらい」がもち米の全使用量の約35%を占めております（新潟県産のもち米の使用量は約60%）。今後も日本のお米にこだわり、稲作圃場の推進や地域農業の活性化、更には環境保全にも繋がる取り組みを継続してまいります。



## 創業75周年を迎え、創業の精神「米技心」を具現化した米菓を発売

おかげさまで75周年を迎えることができました。創業以来、「原料へのこだわり(米)」「製法へのこだわり(技)」「つくり手の想い(心)」を大切に、「米技心」の精神を継承しております。創業75周年にあたり、創業の精神を具現化した「米技心」シリーズを発売いたしました。また、米菓づくりを通じて岩塚製菓のこれまでの様々な出会いを綴った書籍「米を洗う」が幻冬社より刊行されております。



黒豆割煎 鯉醤油



昆布煎 塩



揚餅 醤油



「岩」の字をロゴマーク化しアイキャッチに。岩塚製菓がある越路の風景をイメージしています。



### 会社の概要 (2022年9月30日現在)

社名	岩塚製菓株式会社 IWATSUKA CONFECTIONERY CO.,LTD.
本社所在地	新潟県長岡市飯塚2958番地
設立	1954年4月27日
資本金	16億3,475万円
従業員数	(連結)868名(単体)810名
主な事業所	本社 (工場) 沢下条(第一・第二・第三・第四)工場、 BEIKA Lab、飯塚工場、長岡工場、北海道工場 (支店) 広域支店、北海道支店、東北支店、信越支店、 東京東支店、東京西支店、中部支店、関西支店、 中四国支店、九州支店
ホームページ	<a href="https://www.iwatsukaseika.co.jp/">https://www.iwatsukaseika.co.jp/</a>

### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月(基準日 3月31日)
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日(中間配当をおこなう場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、 特別口座管理機関のお取扱店
特別口座管理機関お取扱店	みずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行